

■ ひろしまサンドボックス

AI, IoT, ビッグデータ等の最新のテクノロジーを活用することにより、
県内企業が新たな付加価値の創出や生産効率化に取り組めるよう、
技術やノウハウを保有する県内外の企業や人材を呼び込み、
様々な産業・地域課題の解決をテーマとして共創で試行錯誤できる
オープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」を構築

作ってはならし、みんなが集まって、創作を繰り返す
「砂場」のように何度も試行錯誤できる場



大項目ラベル

エコシステム形成推進全体

自治体の取組

大学の取組

民間の取組

都市の環境・繋がり

アフターコロナ

グローバル

(参考) 取組のステップ

ひろしまサンドボックス推進協議会会員向けに「実証プロジェクト」
「サポートメニュー」, 「人材育成メニュー」を続々と提供中

SANDBOX推進協議会
会員数2,489名
(R4,3末時点)

	2018	2019	2020	2021	2022
実証プロジェクト ・課題解決型 ・中～大規模 ・中～長期間 《選定会員》	自由提案型（9コンソ、3年間の実証） 行政提案型（県庁内の各課にて随時） ニューノーマル提案型 （D-EGGS PROJECT）				規制緩和 （サキガケ） 実装支援事業
サポート会員 スモールスタート 小～中規模 短～中期間 《落選・未チャレンジ・新規会員》	パートナー（企業，国等）との協働企画 ○クロステック・チャレンジ（インフォバーン） ○アカデミア・チャレンジ（総通局・経産局） ○スタートアップ・チャレンジ（広銀，Creww） ○PITCH TRIAL 5Gチャレンジ（ドコモ） ○KDDI DIGITAL GATEチャレンジ（KDDI） ○Innoventure ONE SHIP チャレンジ（SB） ○フィールドチャレンジ（デロイトトーマツ） 等				2022年メニュー ○イノエコサイト ○RING HIROSHIMA
人材育成メニュー	AI人材開発 プラットフォームの構築 ○e-ラーニングの提供 ○広島発 コンペティションの開催 ○ハンズオン勉強会の開催 等				

大項目ラベル

エコシステム形成推進全体

自治体の取組

大学の取組

民間の取組

都市の環境・繋がり

アフターコロナ

グローバル

(参考) 主な支援内容

実証プロジェクト (自由提案型)

- R 2 までの3年間, 9件の実証プロジェクトを実施
- 採択から約2年半の期間を経て, 商品・サービスのプロトタイプやビジネスモデルの創出など, 一定の成果を生み出し, 支援終了後もチャレンジが続いている。



実証プロジェクト (行政提案型)

- 広島県が抱える行政課題にフォーカスし, 官民連携による新しいソリューションの開発を実施
- R 3 までに7テーマ (道路管理, 河川水位観測, 鳥獣害被害対策, スポーツビジネス, スマート農業, 不法投棄対策, スマートごみ箱) について 公募を行い, 実証にチャレンジ
- R 4 も続々実施予定



会員向けサポートメニュー

- ひろしまサンドボックス推進協議会の会員を対象とし, 会員が様々な実証にチャレンジするためにテーマ別の支援メニューを提供
- ブロックチェーン, 5Gなどの先端技術支援, アカデミアとのマッチング支援など, 会員のニーズに合わせたメニューを提供
- R 4 はRING HIROSHIMAの支援を中心に実施予定



人材育成『ひろしまQuest』

- 場所や時間にとらわれないオンラインとオフラインを組み合わせ, ナレッジを共有して, みんなで一緒に解を探索 (Quest) するAI人材開発プラットフォーム
- R 3 までに, e-ラーニングには延べ894者が参加しており, データ分析コンペティション (全2回) には, 延べ2,379者がチャレンジ



※数字はR2年度末時点のもの

大項目ラベル

エコシステム形成推進全体

自治体の取組

大学の取組

民間の取組

都市の環境・繋がり

アフターコロナ

グローバル